

新たな品種、栽培方法の見直しについて勉強しました

～JA高知県土佐市胡瓜部会勉強会を開催～



新品種の特性等、熱心に説明を聞く栽培農家

6月21～25日、JA胡瓜部会は平成4園芸年度に向けた栽培の勉強会を開催し、生産者22人が参加しました。JAからは、誘引作業に余裕ができることや悪天候にも流れ果が少ないなどのメリットがある「完全更新型栽培」を、農業改良普及課からは問題となっているウイルス病などについて説明しました。参加した部会員は媒介虫の初期防除、新たな品種の栽培方法について摘心のタイミングや温度管理などを熱心に質問するとともに、「収穫位置が高いので、労働負担の軽減になる」「摘葉や誘引作業が少なく済む」など更新栽培に高い関心がうかがえました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携してキュウリ産地の維持・発展に向けて支援を行っていきます。

ショウガの健全農地確保に向けて！

～土壌還元処理勉強会を開催～



土壌還元処理方法を説明する普及指導員

7月13日、JA高知県土佐市生姜部会は難防除病害の青枯病対策として、低濃度エタノール等を利用した土壌還元処理の勉強会を開催し、生産者26人が参加しました。JAからは、管内の土壌還元処理の取り組み状況を、農業改良普及課からは土壌還元処理の効果的な利用方法について説明しました。

参加者からは、還元処理をする時期・期間や灌水量、被覆資材について質問が多く出され、関心の高さがうかがえました。

新型コロナウイルス感染拡大に留意し、JAや生姜部会役員と連携し還元処理の実施前に勉強会を開催することができました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して健全農地確保に向けて支援します。

集落営農組織として発進！

～柳野集落活動センター総会で組織化決定～



食品衛生法改正への対応説明会の様子

7月2日、集落活動センター柳野総会が組合員29人、いの町2人、仁淀川地域本部2人、農業改良普及課1人が出席し開催されました。

農業改良普及課からは集落営農組織化について説明し、「法人が組合員に入っているのか」「集活センターは農業部門だけではないが大丈夫か」等の質問がされました。農業改良普及課は4年間、簿記記帳、イタドリ栽培、食品衛生法改正への対応等に関わってきたこともあり、役員の後押しにより、ほぼ全員の賛同で集落営農組織化が決定しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して組織の活動を支援していきます。

土佐市特産の加工品開発に向けて！

～6次産業化セミナーアップグレードコースを受講～



クラブ員が3本セット案を説明する様子

6月29日、こうち男女共同参画センターソーレで、県6次産業化セミナーアップグレードコースが開催され、とさし旬物クラブ員2人が参加し、農業改良普及課も同行支援しました。これまで開発支援してきた焼肉のたれ、生姜焼きのたれ、ネギ塩だれの3本セットの商品開発について、アドバイザーから透明の手提げバックにリーフレットと共に入れるというアドバイスをいただきました。

グループ員からは「箱に木毛(もくめん)が良いかと思ったが、開けたらすべてゴミになる。手提げバックなら後に使えるし、コストも下げられるので良さそう。」との声も聞かれました。

農業改良普及課は、今後もリーフレットの内容などセット商品開発に向けて支援していきます。